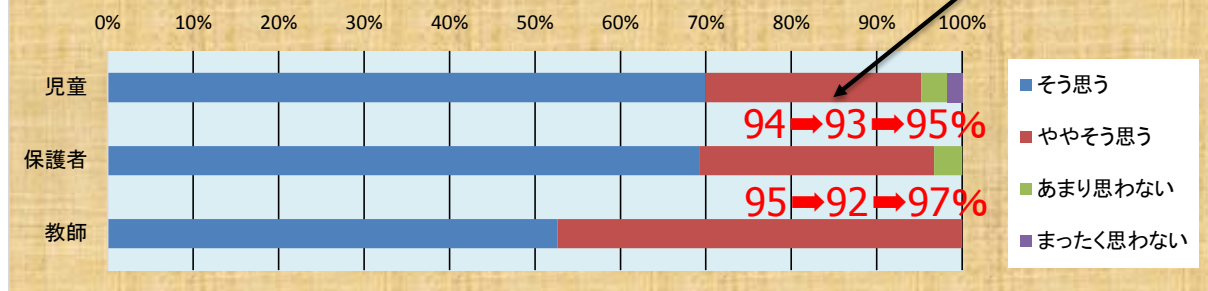


「学校評価・教育活動等に関するアンケート」保護者・児童・教師比較結果

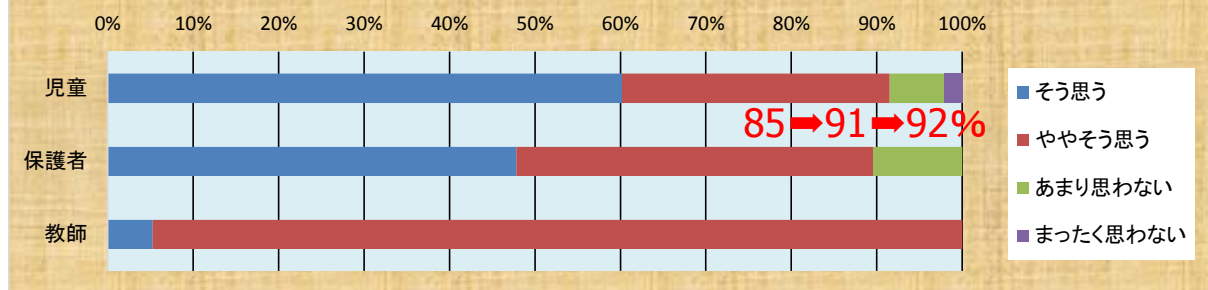
過去3年間の推移

1 学校は楽しいですか



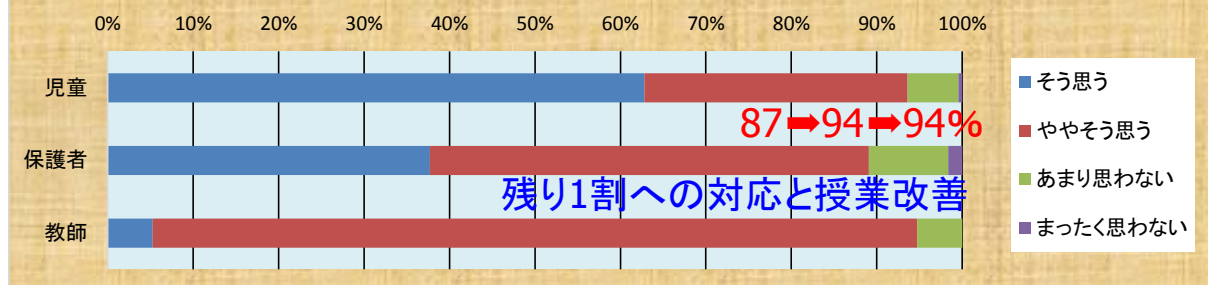
設問1「学校は楽しいか」に対して「そう思う」「ややそう思う」と肯定的な回答が保護者、児童、教師ともに9割を超えている。学校が楽しいと感じる要因には様々なことが考えられるが、これからも、わかる・楽しい授業づくり、学校行事などの充実を進め、すべての児童が楽しく感じる学校にしていきたい。

2 授業は楽しいですか



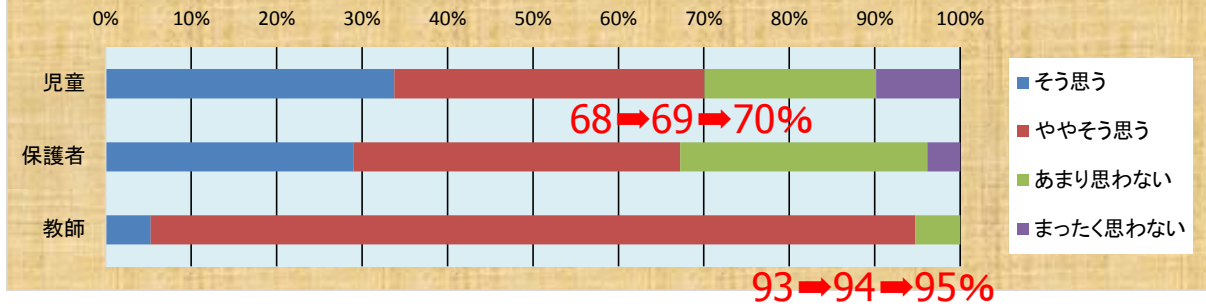
設問2「授業は楽しいか」に対しては、保護者、児童の9割近くが良い評価をしているが「あまり思わない」「まったく思わない」という回答も皆無でない。今後はこのことを真摯に受け止め、「誰もが楽しい」と感じられる授業をめざしたい。

3 授業の内容はわかりますか



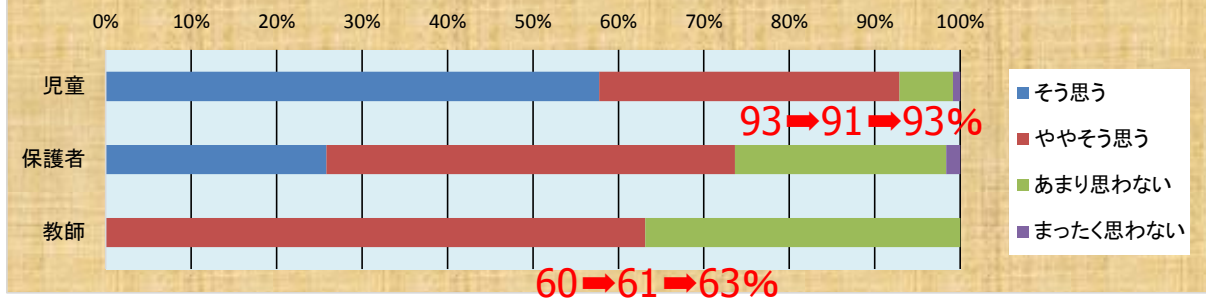
設問3「授業の内容はよくわかるか」に対しては、肯定的な回答が児童、教師ともに9割を超えている。今後も研鑽を重ね、教師一人ひとりの授業力を高めていきたい。

4 授業中進んで発表しますか



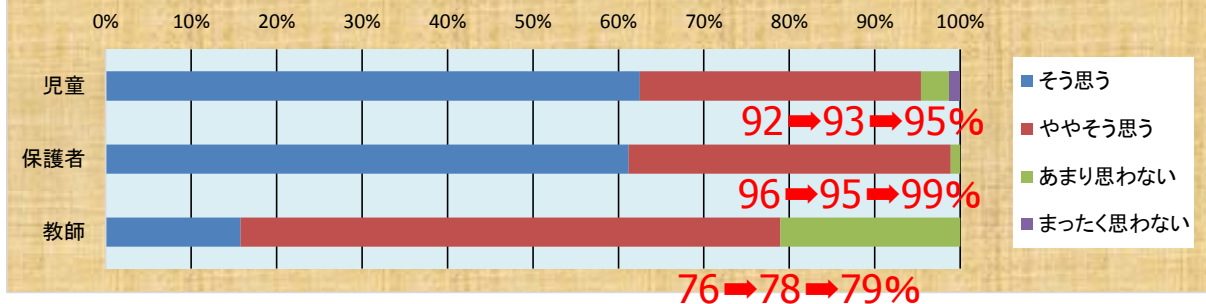
設問4「授業中進んで発表するか」については、保護者、児童ともに3割前後が「あまり思わない」「まったく思わない」と回答していることから、今後も児童が「いかに学ぶか」児童を「いかに学ばせるか」などの視点から、授業への参加度を高める工夫をしたい。

5 先生や友達の話をしっかり聞くことができますか



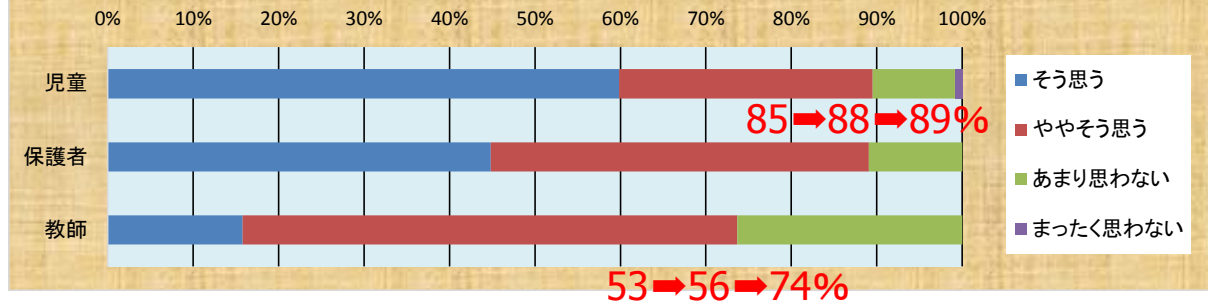
設問5「先生や友達の話をしっかり聞くことができるか」に対しては児童の肯定的な回答が多い一方で、教師、保護者の側からみると一概にそうとは言い切れない。今後も授業や集会などを通して、他人の話をしっかり聞く姿勢を涵養したい。

6 学校のきまりを守っていますか



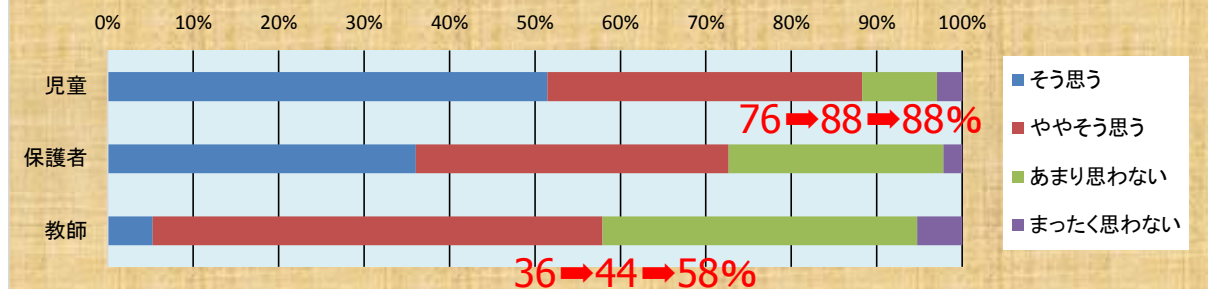
設問6「学校のきまりを守っているか」に対しては保護者、児童ともに肯定的な回答が多く、きまりを遵守しようとする意識が高い。教師のねばり強い指導が浸透しつつあることがわかる。

7 学校であいさつや返事ができていますか



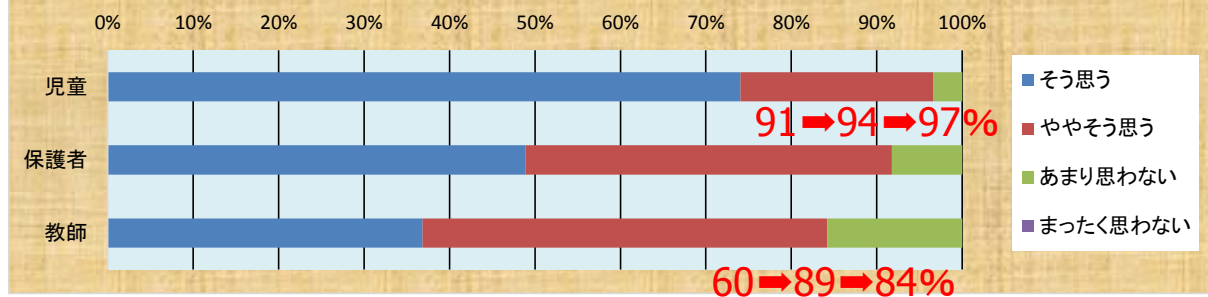
設問7「学校であいさつや返事がしっかりとできているか」は、児童、保護者ともに肯定的な回答が年々増え、9割近くになった。今後も教師自らが率先してあいさつを行い、集会や各学級においてその大切さを伝えていきたい。また、児童会やPTAによるあいさつ運動などを積極的に進め、地域の方々にも元気にあいさつのできる子どもを増やしたい。

8 持ち物をきちんと持ってきていますか



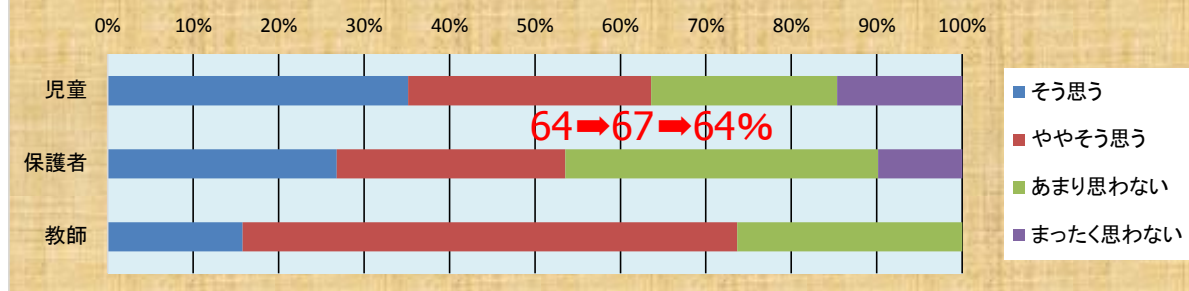
設問8「持ち物をきちんと持ってきているか」は、児童と教師の評価に差があるものの、ともに肯定的な回答が大きく伸びた。(H28より 児童: +12ポイント、教師: +22ポイント) 忘れ物によって学習活動や当番活動に支障をきたすことがないように、これからも指導を継続していきたい。家庭での声かけ、目配りもお願いできたらと思う。

9 時間のけじめをつけていますか



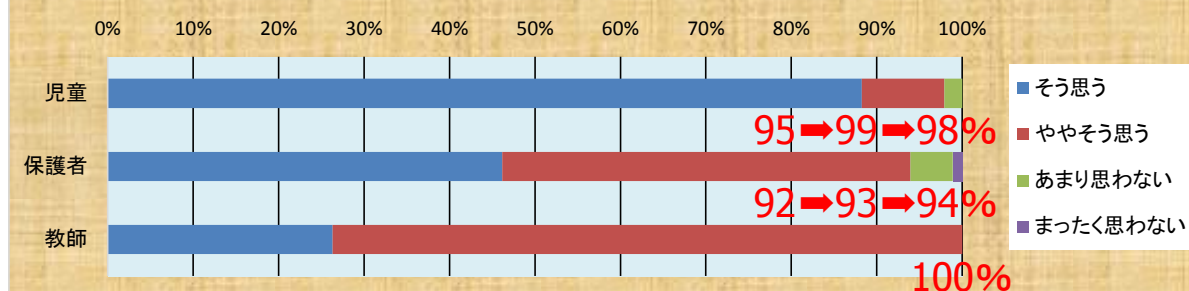
設問9「時間のけじめをつけていますか」は、昨年よりも肯定的な回答が伸び、9割以上が良い評価をしている。より授業にしっかり取り組めるように、学習規律の徹底と時間順守を意識させながら、基本的生活習慣の定着を図りたい。

10 読書をすすんでしていますか



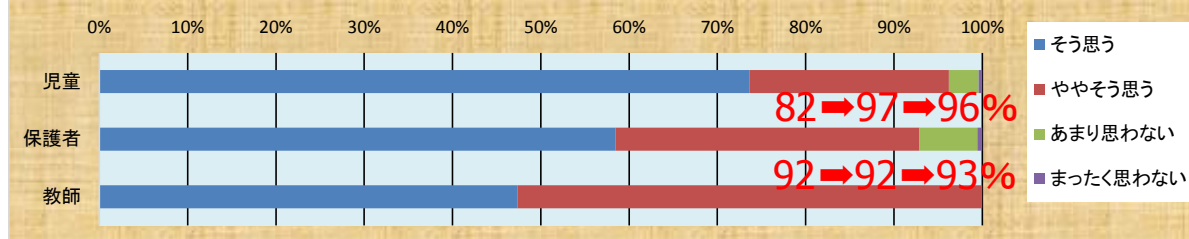
設問10「読書」については、3、4割の児童が「読書ばなれ」の状態を表している。ゲームやインターネットの普及など様々な環境の変化も要因の一つと考えられるが「読書は心の栄養」を合言葉に、今後も学校においては朝読書や読書週間、読み聞かせ、星取表、多読賞など、さまざまな啓発活動に継続して取り組みたい。また、家庭においても親子で読書に親しむ時間を作り出していただけたいと思う。

11 仲の良い友達がいますか



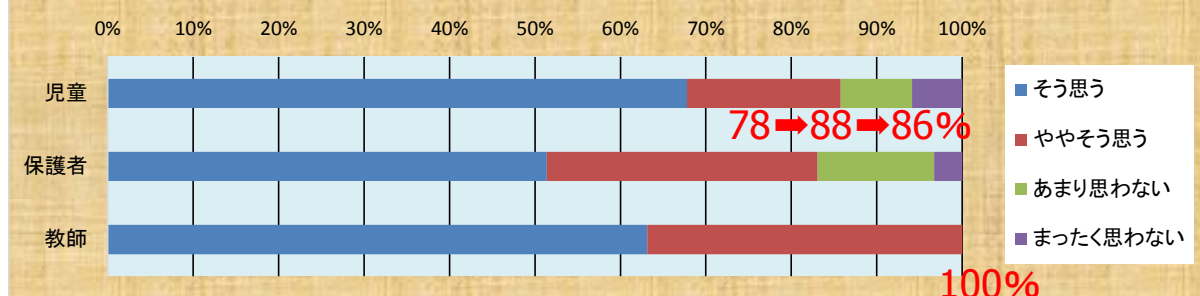
設問11「仲の良い友達がいるか」については、児童、保護者、教師ともに肯定的な回答が9割を超えている。今後も児童の人間関係の変化に気をつけながら、学級における温かい人間関係づくりや、異学年が交流する活動を継続したい。

12 よいことをした時や頑張ったとき、先生はほめてくれますか



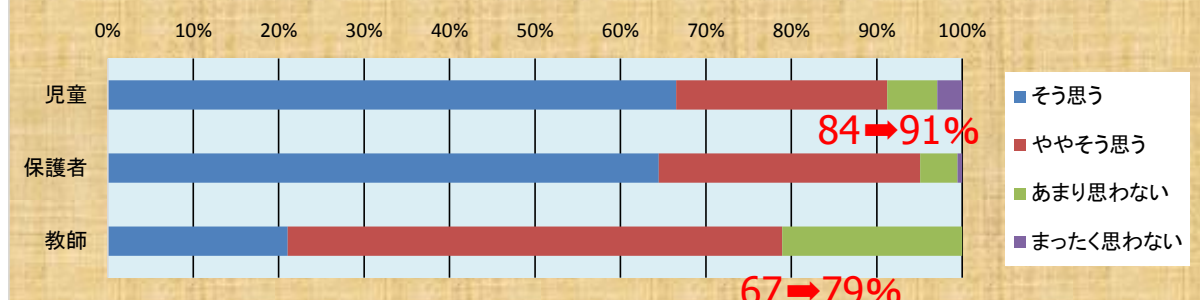
設問12「先生はほめてくれるか」に対しては、肯定的な回答が多く、概ね良好な関係といえる。しかしながら、否定的な回答の保護者、児童も少なからずいる。これからも教育相談などの機会や全職員による児童への働きかけを通して児童と教師の良好な人間関係づくりにより一層努めたい。

13 放課は外で元気よく遊べますか



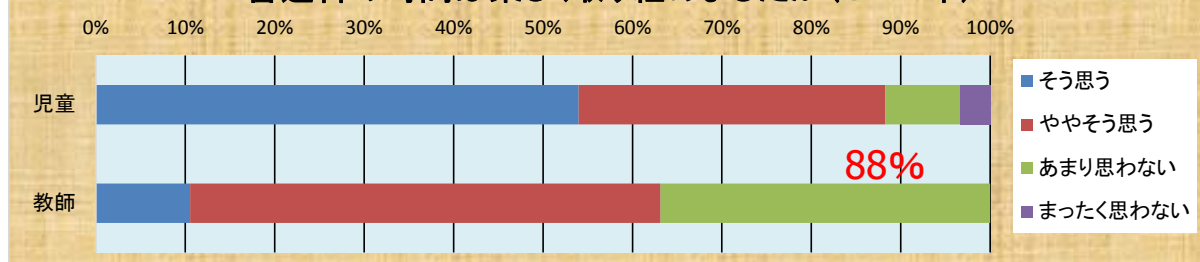
設問13「放課は外で元気よく遊ぶか」については、28年度から始めたACP(アクティブ チャイルド プログラム)の取組により、外で元気に遊べる児童が増えて、定着しつつあることがわかる。(H28 78%→ H29 88%→ H30 86%)今後も放課や体育時などに思いっきり身体を動かすことにより、早寝早起きなどのよりよい生活習慣の形成を家庭と連携してめざしたい。

14 給食は残さず食べますか



設問14「給食は残さず食べているか」に対しては、児童や保護者は肯定的な回答が多い。今年度もみんなで給食を食べて残菜を減らそうと取り組んだ結果、他の学校と比較して残菜率は毎月低い。これからも栄養価に富み、偏りのない食事が提供される給食を体調や体質に応じて、無理のない範囲で残さず食べられるように指導していきたい。

15 文字を書くときは良い姿勢で書けましたか(1,2年) 書道科の時間は楽しく取り組みましたか(3～6年)



設問15 春日井市が28年度からすべての小学校に対して特別な教科として取り組み始めた「書道科」に対しては、9割近くの児童が概ね書道科の時間の目標を達成していると回答した。それに対して教師は、まだ工夫する余地があると考えていることがわかる。今後も指導法を工夫改善しながら、楽しく学ばせるとともに、授業に取り組む姿勢や集中力も身につけていきたい。